

競技上の諸注意

1. 適用ルールについて

- ①この大会は、現行のラージボール卓球ルール(平成24年4月1日改定)を適用します。
- ②表ソフトラバーのみ使用できます。なお、ラケットの使用しない面であっても使用が禁止されているラバーを貼ることができません。
- ③ラバーを裏面に貼る場合は、正規のラバーを全面に貼ってください。

2. 競技方法について

競技は、次によって行います。

- ①各種目の1マッチは、3ゲームで行います。
マッチの勝敗は、2ゲーム先取者(組)を勝ちとします。
- ②1ゲームの勝敗は、11ポイント先取した競技者または組を勝ちとします。
- ③両競技者または組のポイントスコアが、10:10に達したときは、以降2ポイントリードした競技者または組を勝ちとします。ただし、両競技者または組のポイントスコアが12:12になった場合は、先に13ポイントになった競技者または組を勝ちとします。
- ④各競技種目とも予選リーグは、1ブロック4人(組)を原則として行います。
その結果により、ブロック1位・2位者(組)による上位トーナメントとブロック3位以下による下位トーナメントを行います。
- ⑤リーグ戦の順位計算は、日本卓球ルール(平成27年度版)で定めたリーグ戦規程を適用します。
- ⑥参加者数が2人(組)以下の種目は、直近種目の予選ブロックで同一種目者間の順位を決めます。
- ⑦参加者数が3～8人(組)までの種目は、リーグ戦のみとします。
- ⑧参加者数が9～16人(組)の種目は、上位・下位トーナメントの区分をしません。
- ⑨男女シングルス85・90歳以上、男女ダブルスおよび混合ダブルス170・180歳以上は、A、Bのクラス分けをしません。

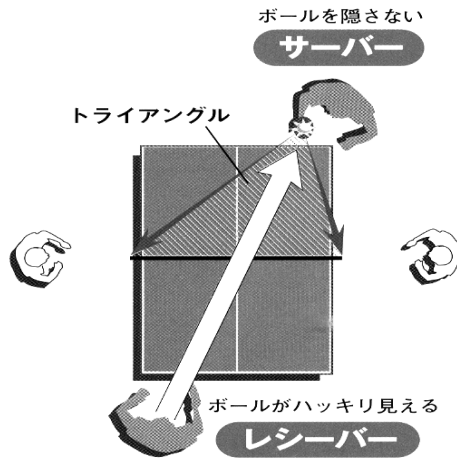
3. サービスについて

- ①サーバーは、フリーハンドの手のひらを開き平らにし、その上に掴むことなく自由に転がる状態でボールをのせ、静止させる。この状態からサービスは、開始される。
- ②次にサーバーは、ボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れずに落下するように、ボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。投げ上げる高さは、任意とするが、落下するのを確認できる高さとする。
- ③サーバーは、ボールが落下する途中を打つものとし、そのボールが最初に自領コートに触れ、次いでネットアセンブリを超えるかまたは迂回した後、レシーバーのコートに直接触れるように打球する。ダブルス競技では、そのボールが最初にサーバーのライトハーフコートに触れ、続いてレシーバーのライトハーフコートに触れなければならない。
- ④サービスが開始されてからボールが打たれるまでの間、ボールは、常にプレーイングサーフェスよりも高い位置でかつサーバー側エンドラインの後方にななければならない。それゆえ競技者は、腕やフリーハンドの一部がプレーイングサーフェスの上に出たとしても、ボール自体が明らかにエンドラインより後方にある限り、そのままサービスを出すことができる。

またその間、サーバーまたは、ダブルスのパートナーの身体の一部または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。

- ⑤ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームとフリーハンドをボールとネットとの間の空間(トライアングル)の外に出さなければならない。

注釈:ボールとネットとの間の空間とは、ボールとネットを支える支柱とで作られた面(トライアングル)を更に上方に延長して作られる空間(三角柱)をいう。



- ⑥競技者の行うサービスが正規のサービス要件を満たしているかどうかを主審または副審、相手競技者が確信できるようにサービスを行うことは、サーバーの責任である。どちらの審判員も、サービスが正規のサービスであるか否かを判定することができる。

- ⑦主審または副審が競技者のサービスの正当性について確信が持てない場合は、それがマッチにおいて初めてであれば競技を中断して、サーバーにその旨注意することができる。その後、その競技者またはダブルスのパートナーが正規のサービスかどうか明かでないサービスを行った場合、そのサービスは不正なサービスと判定される。

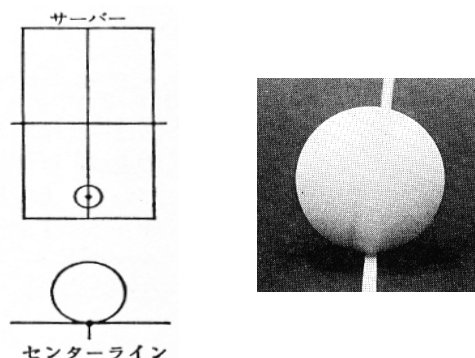
- ⑧サーバーが明らかに正規のサービスの要件に合致しないサービスを行った時は、注意が与えられることなく、レシーバーに1ポイントが与えられる。

- ⑨例外として身体障害により正規のサービス要件を守れないと主審が認めた場合は、主審の権限でサービス規定が緩和されることがある。

- ⑩サービスは、2ポイントごとに交替する。

ただし両競技者または組のポイントスコアが10ポイントに達した時および促進ルールが適用された場合は、それ以後1ポイントごとに交替する。

- ⑪正規のサービスがセンターライン上に触れたか否かの判定は、ボールの真芯がセンターラインに接した場合に限る。



4. 打球について

- ①打球は、ラケットハンドに握られたラケットの正規のラバーの貼ってある面で、あるいはラケットハンドの手首から先で打たれた場合を有効とします。
- ②ボールにラケットを投げつけた場合は、正規のリターンとなりません。
インパクトの瞬間にラケットハンドにラケットが保持されていることが条件となります。
- ③競技者は、プレー中にラケットを片方の手から片方の手へと持ち替えたり、ラケットを両手で持ってボールを打つことができます。
その際は、ラケットを保持している手がラケットハンドとなります。

5. 促進ルールについて

- ①ゲームの開始後8分経過した場合、あるいは、その以前に両競技者または組から要請があった場合は、その時点から促進ルールが適用されます。
ただし、8分経過した時点で両競技者(両組)のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達した場合は、そのゲームに対しての促進ルールが適用されません。
- ②いったん促進ルールが適用されると、その試合が終了するまで促進ルールが適用されます。
- ③促進ルールが適用されると、1ポイント毎に交替してサービスを行わなければなりません。
- ④ゲーム開始後8分に達した時、ボールがインプレーであった場合には、そのプレーを中断させ、そのラリーでサービスを行った競技者のサービスで再開されます。
- ⑤ゲーム開始後8分に達した時ボールがインプレーでなかった場合には、直前のラリーでレシーブを行った競技者のサービスで再開されます。
- ⑥通常のポイント決定方法に加えて、レシーバー側が13回正規のリターンに成功した場合、レシーバー側に1ポイントが与えられます。
- ⑦レシーバーの打球数をカウントするために、ストロークカウンターを導入します。
このストロークカウンターは、副審が兼任できるものとする。
ストロークカウンターは、レシーバーの打球数(最大13まで)を主審及び競技者に聞こえるように英語で数えるものとします。
- ⑧促進ルールが適用されても、そのマッチにおけるサービスとレシーブの順序は、変更されません。

6. A、B、初級者のクラス分け

Aクラス

- ①硬式の各種大会、レディース大会、ねんりんピック代表選手等の各都県代表になった経験を有するもの及び全国ラージボール卓球大会Aクラス出場選手。
- ②硬式、ラージボール卓球を問わず過去5年以内のオープン大会を含む大会で入賞経験を有するもの及び入賞経験者が含まれる組(ダブルスを含む)
- ③本大会Bクラス優勝経験者(ダブルスを含む)
- ④参加希望者

Bクラス

- ①過去5年以内のオープン大会を含む大会で入賞未経験者(各都県卓球連盟(協会)の責任とします。)および入賞未経験者同士の組。
- ②前大会Cクラス優勝者

初級者クラス

- ①初級者に関東大会の雰囲気を楽しんでいただくクラス
- ②クラスの目安は、茨城県が開催しているSリーグの6～8部と同程度の者

7. 競技服装について

- ①競技用服装とは、JTТАが公認したブランドの半袖シャツまたはノースリーブシャツ、ショーツまたはスカートまたは上下一体のスポーツ用服装、靴下および競技用シューズからなるものとします。
したがってトレーニングウェアの一部または全部を着用したり帽子やかぶり物の着用、長袖アンダーシャツ着用は、定められた以外の服装となり原則認められません。
ただしトレーニングウェアは、身体に障害を持っている場合に限り審判長が許可することができます。ジーンズは、認められません。
- ②競技用シャツ、ショーツまたはスカート以外に、サポーター・リストバンド・ヘアバンド・スパッツを着用できます。
- ③競技用服装の色、柄については、ボールの色と関係なく任意とします。
- ④ダブルスペアの服装の組合せは、任意とします。

8. バッドマナー、競技者へのアドバイスについて

- ①競技者またはアドバイザの行為で相手競技者に対して不当な影響を与え観客に不快感を与え、またはゲームの評判を落とすような癖や態度は、バッドマナーとしてペナルティの対象となります。
- ②競技者は、ゲームとゲームの間の1分以内の休憩時間、あるいは緊急中断中などの時間に限り、誰からでもアドバイスを受けることができます。
しかし、練習時間終了後とマッチ開始の間は、アドバイスを受けることができません。
- ③違反のアドバイスには、言葉によるものに限らずゼスチャー等を利用したものも含まれます。

9. ゼッケン着用について

平成28年度(2016年)の(公財)日本卓球協会選手登録を示すゼッケンを着用して下さい。ゼッケンを忘れた者は、試合前に審判長の許可を得て下さい。

10. 審判について

- ①リーグ戦は、選手の相互審判で競技を進めます。
- ②トーナメント戦は、初戦を次の試合の選手または若い番号の選手、その後は、敗者審判でご協力をお願いします。

11. 選手の呼び出しについて

原則として、選手の呼び出しを行いません。
各選手は、プログラムに記載された試合コート付近(競技領域外)で待機して下さい。

12. その他

- ①本競技上の諸注意および現行のラージボール卓球ルールに定めのない事項および競技中に疑義が生じたルール解釈については、審判長および競技委員長が日本卓球ルールおよび審判員の手引き等を参考にして判断します。
この決定は、最終的なものとします。
- ②誰も主審あるいは副審等によるラリーの結果に関する事実問題の決定、あるいは審判長の下したルール解釈については、抗議することができません。
- ③試合進行を最優先しますので、試合コートを変更する場合があります。
場内放送にご注意下さい。

以上

競技日程および諸連絡

1 大会会場

筑西市立下館総合体育館
〒308-0067 茨城県筑西市上平塚627
TEL 0296-28-5040
FAX 0296-28-8776

2 コート配置

会場	コート番号	コート数
メインアリーナ	1～36	36台
サブアリーナ	37～50	14台

3 受付および練習時間

日付	受付時間	練習時間
9月15日(木)	15:00～17:00	15:00～17:00
9月16日(金)	8:10～12:00	8:10～8:40
9月17日(土)	8:10～12:00	8:10～8:40
9月18日(日)	8:10～12:00	8:10～8:40

受付場所は、体育館1階ロビーです。

4 式典

- ①開会式:9月16日(土)9時からメインアリーナで行います。
高齢者表彰者は、8時50分までに本部席前にご着席下さい。
- ②開始式は、9月17日(土)および9月18日(日)の9時から行います。
- ③種目別表彰は、順位決定戦が終了後、アリーナ内の表彰会場(会議室)において行います。
- ④閉会式は、行いません。

5 競技日程

日程	時間	概要
9月15日(木)	15:00～17:00	受付および練習時間
9月16日(金)	8:00 8:10～8:40 9:00 9:30～	開館 受付および練習時間 開会式 試合は、合図で一斉に開始します。 130歳以上混合ダブルス予選から決勝まで 130歳以上男・女ダブルス予選から決勝まで ※初級者混合、男・女ダブルス予選から決勝まで
9月17日(土)	8:00 8:10～8:40 9:00 9:30～	開館 受付および練習時間 開始式 試合は、合図で一斉に開始します。 全年齢の男・女シングルス予選から決勝まで ※初級者男・女シングルス予選から決勝まで
9月18日(日)	8:00 8:10～8:40 9:00～	開館 受付および練習時間 試合は、合図で一斉に開始します。 130歳未満混合ダブルス予選から決勝まで 130歳未満男・女ダブルス予選から決勝まで

6 試合順序(進行)および審判

①各選手へお願い

呼び出し放送は、原則として行いません。

各選手は、プログラムに記載された試合コート付近(競技領域外)で待機して下さい。

②予選リーグの試合順序と審判

●3組の場合

順序	1	2	3
試合	②-③	①-③	①-②
審判	①	②	③

●4組の場合

順序	1	2	3	4	5	6
試合	①-④	②-③	①-③	②-④	①-②	③-④
審判	③	④	②	①	③	①

●5組の場合

順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
試合	①-⑤	②-④	①-③	④-⑤	②-⑤	③-④	①-④	②-③	①-②	③-⑤
審判	②	①	⑤	③	④	①	②	⑤	③	④

●6組の場合

順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
試合	①-⑥	②-⑤	③-④	①-⑤	②-③	④-⑥	①-④	②-⑥	③-⑤	①-③
審判	④	③	②	⑥	①	⑤	③	④	①	⑤
順序	11	12	13	14	15					
試合	②-④	⑤-⑥	①-②	③-⑥	④-⑤					
審判	⑥	②	③	④	①					

●7組の場合

順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
試合	①-⑦	②-⑥	③-⑤	⑥-⑦	①-⑤	②-④	⑤-⑥	④-⑦	①-③	④-⑤
審判	③	⑤	②	④	⑦	⑥	①	③	②	⑦
順序	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
試合	③-⑥	②-⑦	③-④	②-⑤	①-⑥	②-③	①-④	⑤-⑦	①-②	③-⑦
審判	④	⑤	①	⑥	④	⑦	②	③	⑥	⑤
順序	21									
試合	④-⑥									
審判	①									

●8組の場合

順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
試合	①-⑧	②-⑦	③-⑥	④-⑤	①-⑦	②-⑤	③-④	⑥-⑧	①-⑥	②-③
審判	③	④	①	②	⑥	⑧	⑤	⑦	④	⑧
順序	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
試合	④-⑧	⑤-⑦	①-⑤	②-⑧	③-⑦	④-⑥	①-④	②-⑥	③-⑤	⑦-⑧
審判	①	③	⑥	⑦	②	⑤	③	⑧	①	⑥
順序	21	22	23	24	25	26	27	28		
試合	①-③	②-④	⑤-⑧	⑥-⑦	①-②	③-⑧	④-⑦	⑤-⑥		
審判	⑤	⑦	②	④	⑥	⑦	①	⑧		

③トーナメントの試合順序と審判

トーナメント表中の丸で囲まれた数字は、試合の行われるコートNo.を示しています。

例えば、⑩は、10コートを意味します。

また、丸数字の次の数字は、そのコートでの試合順番を表しています。

例えば、⑩-1は、10コートの第1試合、⑩-2は、10コートの第2試合目を表しています。

選手の呼び出しを行いませんので、必ず自分の試合コートと試合順序を確認してください。

④使用球

ラージボール44mm(プラスチック製)公認球とします。

7 記 録

①リーグ戦

審判は、スコアを記入して下さい。

リーグ戦全てが終了したら、選手全員でフロアー進行席にお越し下さい。

フロアー進行席で進行役員により試合結果、試合得点、順位を確認したら、確認のサインを受けて下さい。

その後、予選1位・2位者は、上位トーナメント、予選3位者以下は、下位トーナメント戦に進出します。

②トーナメント戦

審判は、2-0、2-1等の試合結果と勝者を進行役員に伝えて下さい。

勝者は、次の試合に進みますので、指定のコート付近で待機して下さい。

敗者は、残って次の試合の審判をお願いします。

7 掲 示

試合結果・棄権・訂正は、1階ロビー入口付近の掲示板に掲示します。

8 お 願 い

①フロアーへは、競技用シューズでお入り下さい。

②当該競技者以外は、競技領域に入らないで下さい。

当該競技者の荷物は、当該卓球台の下に入れて、競技に支障とならないようにご協力をお願いします。

③アリーナでの水分補給を除いて、フロアーでの飲食はできません。

飲食は、観客席または、ロビーでお願いします。

④貴重品は、各自で十分に管理して下さい。

⑤ごみは、各自でお持ち帰り下さい。

⑥体育館内は禁煙となっています。喫煙される方は、体育館外の所定の場所で行って下さい。その際は、靴を必ず履き替えて下さい。

⑦自家用車で御来場の方は、駐車場以外に止めないように御注意下さい